

令和7年度病院前救護所検討へ向けた試行訓練（谷津保健病院） 報告書

実施日時：令和7年12月22日（月） 16時00分～17時00分

【目標1】救護所の設置を速やかに行い病院前救護所運営を実施するにあたり必要物品を確認する。

項目	詳細・課題
(1)救護所の設置	○テント1張・バルーンライト1台・発電機1台を速やかに設置できた。 机・椅子は谷津保健病院より借用
(2)物品確認	○済生会習志野病院での訓練時と同様に、テントは折りたたみ式のものを使用した。長時間にわたる救護活動となることを考慮すると、気温に左右されないよう検討が必要。

【目標2】傷病者の来院を想定し、トリアージの実施と病院内のトリアージエリアへの搬送に係る手順や動線を確認する。

項目	詳細・課題
(1)トリアージ・カルテの記録	○病院が受付・処置ブースを設置し、市が病院前救護所としてその場を引き継ぐ形で訓練を実施した。 ○市が後から合流することによりそれまでの体制に変化が生じるため、記録等の引継ぎ方法について検討が必要。 ○病院職員が患者役となり実際にトリアージ行い、タグ・カルテへの記録を実施した。
(2)搬送手順の確認	①トリアージとカルテ作成 ②トリアージタグとカルテを持たせ、院内へ搬送 ※院内搬送に係る確認は不要
(3)搬送に係る動線の確認	緑…病院前救護所で処置後帰宅 黄…救急外来入口より1階診察室前へ搬送 赤…救急外来入口より救急外来処置スペースへ搬送
(4)備考	○発災直後は病院がトリアージ受付・処置ブースを開設し、その後参集した病院前救護所要員がその場を引き継ぐ形となる。そのため円滑な体制変更の方法を検討していく必要がある。

【目標3】院内災害対策本部への情報伝達手段を確認する。

項目	詳細・課題
(1)情報伝達手段の確認	○設置報告と定時報告は書面で、院内2階の院内災害対策本部へ報告。